

松 並 木

No.126

令和6年3月1日発行

北海道七飯高等学校PTA



卒業生へ



PTA会長
木 村 雄 介

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆さま、お子様が立派に成長され、卒業されま

すことを心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆さんは、三年間この七飯高校で勉強、部活動など、人生において大切な日々を、先生方や沢山の仲間と共に過ごして来ましたね。色々な制限があり、学校生活が思い描いたようにいかない時期もありましたが、困難な状況でも皆さんは常に諦めずに仲間や先生方と協力して高校三年間を明るく元気に学んでくれました。

特に去年の学校祭では、私たちもPTA活動を通じて関わって皆さんの笑顔や元気な姿にとても力をもらい嬉しく、いい思い出となりました。前例のない手探りな中で新しい取り組みや、創意工夫した活動を実践し新しい高校生活を自らの手で作り上げたこと、人と人が協力し励まし合い目標を達成したこと、これはこの

時代に三年間頑張った皆さんの成長の証です。今後の人生に必ずプラスになると思います。

また、当たり前の生活や当たり前の出来事が、実は当たり前ではないという事に気づいたこと、当たり前に流れる日々感謝すること、そんな思いをあらためて感じた三年間だったのでは、と思います。そんな前例のない経験をこの七飯高校で仲間と共に学んだ皆さんは、新しい事にチャレンジした自信と当たり前の事に感謝する心が備わり、とても素晴らしいです。

皆さんは卒業して四月からそれぞれ新しいステージに進みます。七飯高校での、かけがえのない経験を生かして新たなステージで輝くために自分を信じて未来を突き進んで行ってください。

末筆になりますが、保護者の皆さまには一年間PTA活動へのご理解と多大なご協力を頂きました事に深く感謝いたします。また、校長先生をはじめすべての先生方には、卒業までの三年間、生徒たちを温かく導いていただいた事、心より御礼申し上げます。

野を刈る人 地の果てを見ず



校長 之 雅 原 菅

卒業生諸君、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。今年度は、猛暑による臨時休校やインフルエンザによる学級閉鎖、暴風による大沼一周ロードレース大会の中止など、保護者の皆様にはご心配とご迷惑をおかけいたしました。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

さて、現代は「先行き不透明な予測困難な時代」と言われ、それと関連するようなかたちで「金融教育」や「資産形成」などを高校で扱うようになりました。また、国際競争力アップをにらみながら、「アントレプレナーシップ教育（起業家教育）」が地域活性化の特効薬と持てはやされております。しかし、起業した人々が生き残れる割合は1%にも満たないようで、そろそろ「世界に冠たる先進国である」という看板を捨て、新たな発想も必要だろうと感じております。

ここで、私は若者に「学鍛敬」という本校の校訓の重要さをあらためて訴えます。そのなかでも「敬」を強調いたします。「敬」は「他人を尊ぶ」とですが、根底には「物事を疎かにし

ない」という精神があります。そこで私は次のような言葉をふと思い出します。「野を刈る人 地の果てを見ず。」

過去、開拓に従事した先人は、黙々と稲刈りに精を出しておりました。未来などを考えずに忍耐の日々です。地の果てを見れば刻苦に耐えられなくなり、目を閉じて労働するのみです。そうして、開拓者は一本の稲穂も疎かにせず、常に労働と隣人を尊びながら生活していたと思います。

将来、データサイエンスと人工知能が人類の可能性を拓けるでしょう。しかし、人工知能を備えたロボットに仕事をさせ、人間が楽な道を歩もうとすると世界はあらぬ方向に向かうように思います。物事を疎かにしない生活態度を年長者が若者に見せる時代です。しかし、残念ながら私自身それができておりません。本校の教職員にも至らぬ振る舞いが多々あると思います。今後とも、保護者や地域の方々のご指導が必要だと思っております。

卒業生の保護者の皆様には、三年間のご支援、ご協力に感謝を申し上げます。お子様の卒業後も、本校へのご支援をお願いいたします。なお、私ごとでございますが、この三月をもって退職いたします。故郷の十勝平野の片隅から、南渡島に居住する総ての人たちが素晴らしい人生を送り、七飯高校卒業生が地域を支える人財となることを切に祈っております。

祝卒業

卒業担任から

日々是好日



三年一組 担任 山田 翼

三九期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。三年間、本当に有難うございました。令和三年四月九日に執り行われた分散型入学式から約千日近い月日が経過しましたが、この三年間を振り返り、何を思いますか。きつと、一言で表すことはできないほど、濃密な時間だったのではないのでしょうか。七飯高校は、幅広い地域から通学してきているので、人のつながりが急速に増えて色々な人と知り合えた喜びを味わえたことだと思います。人によるとは思いますが、高校時代の友人は一際腹を割って話せるような間柄な気がします。この三年間の何よりの財産でしょう。

この記事を書く少し前に、卒業アルバムの写真を見ていたところ、入学式や宿泊研修の時の写真と三年時の緑峰祭や体育大会の写真を見比べてみると、これほど大人になっていったのかと少し感じました。また、この三年間の様々な経験を経て、心も成長していることでしょう。そう感じるのが私だけでなく、皆さん自身が実感し、実りある時間だったと思うくれたら、幸甚です。四月からは進学・就職に関わらず、

自分で考えて行動し、責任を負い、勉強しなくてはならない状況になると思います。国家資格を取得するために、自身の専門的な知識や技能を磨くために、満足のいく仕事をするために。日常生活においても、資産運用や行政手続等、勉強することは沢山です。変化の著しい現代社会において、勉強しない人は時代から取り残されてしまいます。昨日より今日、今日より明日、意識的に成長できる人になって下さい。

最後に、①自分の心身の健康を大切にすること、②他者や社会の役に立つこと、③信頼や信用を失うことはしないことの三事項を守って、幸せな人生を送って下さい。

三年間、お疲れ様でした。皆様の今後の活躍を心より応援しています。

卒業する皆さんへ



三年二組 担任 林 原 晋

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、卒業おめでとうございます。卒業というこの日を迎えられたのは、家族の方、先生方、友人など多くの人に支えられてきたことによるものであることを心に留めていて欲しいと思います。

この三年間を振り返ると、新型コロナウイルス感染症に悩まされた学年でした。制限がかけられた生活に悩み苦しんだことでしょう。それでも、皆さんが三年生の令和五年度は、感染拡大が大分収まってきており、日常生活が



三年三組 担任
佐藤 清隆

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。この三年間、様々なことを経験して、今

卒業に向けて

戻りつつありました。そんな中、皆さんはどんな三年間を過ごしてきたのでしょうか。それぞれ振り返ってみてください。勉強に苦しみめられてきた人もいるでしょう。また、進路で悩んで最終結果を迎えた人もいるでしょう。部活動で苦しみ悔しい思いをした人もいるでしょう。それぞれの人が悩み苦しみそしてそれぞれのことを乗り越えてきたと思います。今となつてはそれらも良い思い出となっているのではないのでしょうか。これからは、進学して学生を続ける人もいれば、社会人になる人と、それぞれ違う道へと歩んでいくこととなります。高校生活を終え、新たな世界へ巣立って行く皆さん、これから陰で誰かに支えられて生きていくことを忘れることなく、今度は誰かの支えになれる人間になってください。そして、後悔のない人生にしてください。これからの世の中を中心になつて作っていくのは君たちです。それぞれの道で活躍することを期待しています。最後にありますが、保護者の皆様にはこの三年間の様々なご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

日を迎えていることと思います。

私は皆さんの入学と一緒に七飯高校に赴任しました。昨年、卒業生を出し、今年もまた三年生の担任……。今まであまり係わりが無く、顔と名前が一致しなかったり、有澤学年主任の後を引き継ぐということで、自分自身不安でした。でも、それ以上に三組の皆さんは戸惑い、嘆いたのではと想像します。保護者の方も同様に、不安を抱かれたことと思います。

担任として皆さんに何を伝えることができ、何ができなかったのか、全力を尽くしたのか、楽しかったのか否か、卒業にあたり自問自答してみました。答えは明白です。時間がないことを言い訳に、一人ひとりとゆつくり向き合うこともなく、目の前の問題を処理しただけ……。もつともつと構つてあげれば良かった。一番残念なこととは、胸を張つて「これが三組です!」というクラスとしてのカラーを作れなかったことです。こんな頼りない担任でしたが、一年間よく耐えてくれました。本当にありがとうございます。

最後になりますが、保護者の皆様には、多岐にわたりご理解・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。特に進路決定にあたりましては、眠れない葛藤の日々もあったこととお察します。しかし、なんといつても我が子をいちばん理解しているのは親御さんです。どうか卒業後もお子様の愚痴を聞いてあげてください。そして、温かく励まして下さい。

三年生の皆さん、安心して思いっきり羽ばたいて下さい。健闘を祈ります。

卒業生から

三年間を振り返って

三年一組 天谷 寧々花

七飯高校に入学してからの三年間は長かったようであつという間であり楽しいことや辛いことを経験した貴重な時間でした。新しいお友達ができたり、学校祭、体育祭などとても充実した学校生活だったと思います。

その中でも私はバドミントン部でたくさんのことを学び成長できたと思っています。私が部活に入部したのはみんなと違い遅い時期で、最初は上手く馴染むことができず不安でしたがみんな仲が良くにぎやかで雰囲気の良い部活だったのですぐにそんな不安はなくなりました。一年生の頃は大会での目

標もそこまでなくなつただただ休まず部活にいき、楽しくわいわいできたならそれでいいという考え方でした。二年生では経験者の人、未経験の人が入つてくられて女子の人数が増えたことにより団体戦に力をいれてがんばっていました。練習メニューがきつかったり、練習中全然うまくできずつらいこともありましたが、大会ではみんなのがんばりでいい結果を残せたことがなにより嬉しかったです。

私は部活を通して先輩、後輩のコミュニケーションのとり方や目標にむかつてがんばること、つらいことも諦めずやり遂げることなどたくさんこのことを学ぶことができました。これから部活で学んだことを忘れずにがんばっていきたいと思っています。ありがとうございます。

3年1組



3年2組



3年3組



三年間を振り返って

三年一組 永田 琉海

この高校三年間は本当にあつという間でした。特に三年生になってからは更にそのように感じました。三年間の中で、自分は特に部活動を頑張ったと思います。自分はサッカー部に所属していて、部の目標は全道大会出場でした。二年生の時は先輩のおかげもあり目標を達成することができました。しかし、出場は果たせたものの全道大会で悔しい思いをしました。そして、自分が主役となる三年生になりました。春の高校連では二回戦で敗退してしまいました。そこからまた這い上がるために沢山努力しましたが、リーグ戦では善戦することができたものの勝ちきることが出来ませんでした。そして夏休み。あの暑い中で走りのトレーニングが続く、非常に辛くて逃げ出したと思うこともありましたが、目標を達成するためにチーム一丸となつて乗り切りました。また、多くの試合や練習試合を通して沢山の経験を積むことができました。そして、最後の試合、勝つても負けても高校生活最後のサッカーでしたが、一回戦敗退という結果で終わってしまいました。

三年間の部活動を通して、数え切れないほどの経験をする事ができました。部活動は、親や先生方の応援があつてはじめてできたことですので、深く感謝しています。サッカー部での経験は、社会に出ても忘れず、人の役に立つ人間になりたいと思います。辛いことや苦しいこともありましたが、

好きなことを真剣に取り組めた三年間はとても幸せでした。

感謝の三年間

三年二組 安藤 理成

まず、最初に皆さんに感謝をさせていただきます。

私は一人ではできないようなことを皆さんが協力して下さい、助けて下さったのでここまで来ることができたと思います。本当にありがとうございました。

最初に感謝をさせてもらったのは皆さんに感謝を一番最初に伝えたかったため書かせてもらいました。

さて、私はこの七飯高校で三年間をすごしました。そんななかで私の思い出に残っているのは日々の日常です。私は人が喜んだり、楽しそうにしているのを見るのが好きでどのようにすれば喜んでもらえるのか等を考えていた三年間だったと思います。ですが私は気分屋な部分もあり、特に高校一年生の時は後先考えず、強い発言をしたり、相手を傷つけてしまった時もあったと思います。今思うとなんであんなことをしたのだろうと考えてしまう時もあります。後悔はしていません。それともまた人生だと思ひ割り切ることにしています。

最後に、私は三年間野球部に所属し、恩師の一人である方からよく言われていた言葉があるので紹介させていただきます。「お世話になった方の恩を仇で返すな。」私はおそらく後者のなのだろうと思います。ですので、このことを教訓にし、

これからの人生を歩んでいこうと思います。三年間お世話になりました。

三年間を振り返って

三年二組 川合 千恵梨

三年間の長い高校生活も残りあと一か月となりました。入学したときは新しい環境に戸惑い、不安なことも多く苦労を感じることがたくさんありましたが、宿泊研修、体育祭、緑峰祭、修学旅行などの様々な行事を通して、その場でしか学べないことや、周囲の人々と交流することで分かったことなど、この三年間をとっても充実した時間として過ごすことができました。

私の一番の思い出は三年最後の緑峰祭です。私は三年間ステンドグラス部門に所属しており、最後の年は責任者を務めました。皆に上手に指示できていたのか不安でしたが、笑顔で楽しく制作することが出来ました。出来た作品が部門で一位を取れた事もとても嬉しく思いました。皆の頑張りが評価された瞬間だと私は強く感じています。学校生活ではコロナウィルスの影響が完全に無くなった訳ではありませんが、段々と元の生活に戻ってきているなど感じる場面をちらほら見かけます。嬉しいと思う反面、まだまだ寒い季節なので、体調に気をつけながら残りの学校生活を過ごしたいと思っています。今年の四月からは病院で医療事務をすることとなりました。医療の場に携わるといことで、不安なこともありませんが、ここで学んだことを活かして

立派な社会人になれるよう精一杯頑張りたいと思っています。

最後に、三年間一緒に過ごしたクラス、支えてくれた先生方、地域の方々には感謝の気持ちで一杯です。私はこの七飯高校に入つて良かったと強く感じています。今までありがとうございました。

高校三年間の生活で...

三年三組 高谷 晴

長いようであつという間だった高校三年間も終わりの日が近づいて来ます。今振り返ると、入学式から二年にいたるまで新型コロナウィルスの影響を受け続けていた気がします。入学式は、生徒全員が体育館に集まることのできず、クラスメイトの顔を知らない人もいる状態で学校生活が始まりました。その中で制限はあつたにしろ行事は行う事ができ私を含め各々が思い出を残すことができたと感じています。

二年生の頃は、少しずつ制限は減つていきましたが、それでも制限はあり自由に学校生活を送ることができない中、部活動では、高校サッカー選手権大会北海道大会に出場させてもらい、一年生の頃から続けてきた努力が報われました。ですがこのような貴重な経験ができたのも先輩方が私たち後輩をまとめてくださり、引っ張ってくださったからこそできた経験だったので、このような立派な先輩になりたいと思つた一年になりました。そして、本格的に進路活動が始まり、どんな行事の時でも「最後」と言われ

る一年が始まりました。三年生になつてからは、自分の進路実現に向けて、学業により力を入れ指定校推薦の枠をもらえた時はとてもうれしかったことを今でも覚えています。

私は、この高校三年間の生活で、部活動では人間性や社会性、コミュニケーション能力や仲間の大切さ、学校生活では、夢に向かって努力すること、友達と協力して何かを成し遂げることの楽しさを知りました。このようなことはどれも自分一人では出来ませんでした。友達がいて支えてくれる先生方がいて、両親がいて、学ぶ環境があつて、当たり前ではないこの環境にとっても感謝しています。この経験を糧にして進路先の生活でも七飯高校卒業生として恥じない行動をとり夢を実現することと恩返しできればと思っています。最後に、高校三年間、友達や先生方と関わってきた時間は一生の思い出です。本当にありがとうございました。

教室の二重らせん構造の模型

三年三組 平 田 はるか

高校生活も残り二ヶ月になり、改めて三年間を振り返ってみると楽しい思い出が沢山あります。三年間の中でみんなが目指すことはやはり、進路の実現です。

私は、一、二年生の頃は専門学校への進学を志望していましたが、三年生になってから大学進学へと進路を変更したので、両親や先生方には迷惑をかけてしまったと思います。今思うといつどんなチャンスがあるか分からない

ので、嫌々でも勉強してきて良かったと思います。少しでも進学を考えている一、二年生には、自分ができる範囲で勉強を頑張ることをおすすめします。頑張ってください。

進路活動以外では、部活動に特に力を入れてきました。私は、茶道部の副部長で「建水を下げてその手がそのまま袱紗に」という部長の教えを念頭に置き、お稽古に励みました。茶道部の活動を通して、普段深く触れることの無い日本文化への造詣を深めると共に、他者を思いやる心や、何気ない事にも常に感謝の気持ちを示す事、気遣いの大切さを学ぶことができました。

私は四月から一人暮らしの大学生生活が始まります。今後は、三年間で学んだことを活かして、充実した大学生活を送れるように精一杯頑張りたいです。三年間を通して進路活動などでお世話になった先生方や仲良くしてくれた友人たちには感謝をしています。いつもありがとうございます。一瞬で過ぎた二重らせん構造のような三年間でしたが、一生の思い出になった三年間でした。

P T A役員から

P T A活動を振り返って

P T A副会長 横 山 あけみ

三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。息子が七飯高校に入学すると同時にP T Aにお世話になり二年が経とうとしています。コロナウイルスの影響で学校生活をはじめ、P T A活動にも制限がありま

したが少しずつ緩和された中での活動となりました。緑峰祭をはじめ三年ぶりの活動になりましたP T A研修旅行では貸し切りバスに乗り、乙部クラフトビール見学、レストランにて昼食、上ノ国ワイナリー見学、最後に道の駅みそぎの郷きこないで買い物というとても充実した旅行となりました。先生方や保護者が一生懸命考えた旅行に多くの方が参加してくださった事に感謝申し上げます。

七飯町P T Aミニバレーボール大会では初心者の方も参加し、少ない練習期間でありながらも、優勝という素晴らしい結果になりました。七飯町内の小中、高が一斉に集まり、先生方と保護者、地域の方がスポーツを通して交流を深められた活動が出来たのではないかと感じました。このような活動に協力し参加できたことをとても嬉しく思いました。

役員という貴重な経験をさせていたいただき子供たちだけではなく親も楽しく学ぶ機会となるよう心掛けて活動してきましたが、P T Aとして生徒たちのサポートをいかにしていくか、まだまだ課題は多いと思います。三年間という短い高校生活を充実したものにしていける為に、少しでも関心がありましたら是非参加して一緒に楽しい思い出を作ることも貴重な経験になると思います。今後ともP T A活動にご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。一年間本当にありがとうございました。

P T A研修旅行



ミニバレーボール大会

見事優勝!!

四年ぶりの開催となった第九回七飯町P T A連合会ミニバレーボール大会(十一月二十六日)において、本校の「ドータース七高(三田代さんの母・一東谷さんの父・一三水島さんの母・一三上村さんの母)が見事優勝を果たしました。平成二十八年(二〇一六年)以来の優勝です。おめでとうございます。



進路指導部より

進路指導部長 井 上 啓一郎

卒業生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今年度の七飯高校の進路状況を見ると、まさに生徒一人一人の努力が成果となって現れていると感じます。

進学においては、北海道教育大学函館校、公立はこだて未来大学に一名ずつの合格を始めとして、私立大学を合わせて十七名が大学進学となりました。また、短期大学に三名、専門学校も看護学校十名を含め、多数の合格者を出す結果となりました。四年制大学は経済・経営・商学系や情報系分野を中心に、短大や専門学校は医療看護系、保育系などの生活関連の実学系が多い傾向です。

就職においては民間就職三十名、公務員五名の内定となっています。コロナ禍からの回復による多くの業種での人手不足、卒業予定者数の減少や進学希望者の増加もあり、管内の求人倍率二・二五倍と圧倒的な「売り手市場」の中で、本校生も全道平均八八%を上回る九五%の就職内定率となっており、健闘しています。民間就職は多くの生徒が函館市内・近郊への就職で、やはり地元志向が強いと感じております。

「進学校」「就職に強い高校」……

都市部の高校とは違い、七飯高校生の進路希望は進学・就職様々です。そのため、総合的な探究の時間では、職業選択や地域社会課題と学問との関わりについての研究、上級学校見学、企業や団体での体験実習参加など様々な探究活動に取り組んでいます。また、進学においては、模擬試験、進学講習といった各種行事を通じて進路希望の実現をサポートしています。就職希望者に対しては専門家による就職ガイダンスや個別カウンセリング等を通じて職業に対する意識を深める指導をしています。

卒業生の保護者の皆様には、三年間のお礼を、在校生の保護者の皆様には引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

祝合格

三年間の進路活動

三年一組 山 本 葵 斗

私は、北海道教育大学函館校国際地域専攻地域政策グループに合格することができました。高校一年生の頃からこの大学へ入学したいと考えていたの、とても嬉しかったです。

私が北教大函館校の学校推薦型選抜

に合格するために努力したことは大きく分けて三つあります。一つ目は、全ての科目で評定が4以上になるようにしたこと。そのために三年間、朝早くに登校して自習して考查に備えたり、提出物も期限内に不備のないように提出したりしていました。二つ目は、課外活動です。一年生から二年生まではボランティア局に、三年生ではボランティア局と科学同好会を兼部しており、三年間の局活動での経験が進路活動で役に立ちました。三つ目は、校外活動です。校外活動は一年生から三年生まで行っていました。商品開発や取材を行い、大学の関係者や地元企業の役場の方々と交流する機会が沢山ありました。その中で様々な力を伸ばすことができました。複数の活動に参加していたので休日はほとんどなく、考查期間直前まで活動があり、中々家で勉強できる時間がありませんでしたが、学校の昼休みなどの空き時間を活用して時間を確保しました。また、進路を考える上で自分のやってきたことをノートに記録しておいたり、模検や英検の資格も一年生の頃から取得したりしていました。このように、早めの準備を行っていたことが合格できた要因だと思います。そして、合格できた一番大きな要因は、「先生方のご協力」

だったと思います。自己推薦文作成や面接指導等、多くの場面でお世話になりました。

これからの進路に悩んでいる人も多いと思いますが、何事も経験してみることが大切だと思います。是非様々なことに挑戦してみてください。

見学旅行

令和五年度見学旅行

二学年主任 守 屋 匡 人

十月十六日から二十日の四泊五日の日程で、今年度の見学旅行を実施いたしました。行程は、関西・関東方面の研修ということで、生徒は約一ヶ月ほど前から、自主研修の計画や集団生活での心得などの事前指導を受け出発日を迎えました。

終始、天候に恵まれた旅程となり、初日は、清水寺にて日本の豊かな文化遺産に触れました。二日目は、関西グループ別自主研修を行い、それぞれが事前に計画したコースで関西の文化を堪能しました。中には、名物をお腹一杯食べて戻ってくる生徒も見られました。三日目は、新幹線で東京へ移動し、東京グローバルゲートウェイで本場の

英語に触れ、夜は横浜中華街にて異国情緒漂う街並みを堪能しました。四日目は、東京デイズニールゾートを思う存分味わい。五日目は、東京でのグループ別自主研修をして、北海道に戻ってきました。

生徒にとってこの四泊五日の体験は、ほぼ間違いなく一生の思い出の一つになることでしょう。集団行動の難しさ、計画を練ることの大切さ、本物を味わう感動、伝統と最先端に圧倒された関西・東京。北海道にはないものを感じ、そして北海道の良さを改めて感じたのではないのでしょうか。

さて、今回の見学旅行を終えたことで、これからいよいよ進路活動が本格化します。まだ、実感が湧いてこない生徒が大半ですが、見学旅行で得た様々な経験を活かして、それぞれが自己の進路目標を達成して欲しいと期待します。

私たちの見学旅行

二年三組 種 崎 心 奈

私たちの見学旅行の行先は関西と東京でした。

私は、初めての関西と東京でどのような経験ができるのか楽しみにして当日を迎えました。関西に到着して初めに感じたことは、十月なのにも関わらず気温が高く北海道との違いに驚きました。

一日目は清水寺に向かいました。清水寺に行くまでの道中にとっても多くの観光客の方がいて賑わっていました。

清水寺からの眺めは絶景で感動しました。二日目は関西自主研修がありました。一番思い出に残っていることは伏見稲荷神社でした。伏見稲荷神社は沢山の鳥居が並んでいました。

三日目は東京グローバルゲートウェイへ向かいました。色々な国から来て

いる外国の方たちと、一緒に英語を使って交流しました。私は英語が苦手と言葉を伝えるのが難しかったけれどジェスチャーや知っている単語で何とかコミュニケーションをとることができました。その日は横浜中華街での夕食で、沢山の中華料理が出てきて本当に美味しかったです。

四日目はデイズニールランド、デイズニールシーに行きました。私はデイズニールランドを選びました。初めてのデイズニールランドで沢山のアトラクションに乗ることが出来て最高の思い出になりました。

最終日の五日目は関東での自主研修を行いました。都会はバスや電車の本数が多く、乗り継ぎや駅が多くて何度も迷いそうになりました。それでも自分たちで協力し合いながら東京を研修することが出来ました。東京は乗り逃がしても本数が多いので数分後には同

じ行先の電車が来るので便利だと思いました。関東自主研修の日に帰らなければならぬので、自主研修の時間が短く、もう少し時間が欲しかったです。この五日間で色々な歴史的建造物などに触れることができ、自分の知らない環境で様々な経験をすることもできました。そしてなによりも友達との楽しい思い出を沢山作ることで最高の見学旅行になりました。



三年間の部活動

女子バレーボール部主将

三年三組 田代 鈴奈

私にとつての部活動三年間はかけがえない宝物となりました。入部した最初は一年生ながら先輩が怖い、練習が厳しいなど、屁理屈を並べて友達と一緒に辞めようとしていました。ですが、どんなに辞めると言っても止めてくれる人がいました。今では止めてくれた周りの人には感謝してもしきれません。その後部活動をやっていく上で、練習を厳しくする理由、先輩が厳しく指導する理由がわかってきました。練習を厳しくするから強くなる、先輩が厳しいのは、上手くなつて欲しいからの愛情。私たちの先輩は後輩にとっても愛情を注いで指導してくれました。だからこそ今の自分がいます。先輩方ありがとうございました。学年があり先輩方や専門指導者がいない



中での練習はとても辛かったです。少ないメンバーだから練習も限られて、時間だけが無駄に余る状態にみんなやるせない気持ちから沢山、沢山ぶつかりました。正直心底嫌いになったことなんて山程あります。ですがぶつかりあつたからこそ仲間の大切さに気づくことができました。

最後にここで仲間達に言わせてください。こんな頼りないキャプテンに最後までついてきてくれてありがとう。青空、夢姫、幸芽、高校三年間の貴重な時間を一緒に過ごすことができて幸せでした。後輩達へ、鬼みたいに厳しい中ついてきてくれてありがとう。今の仲間を見捨てず大切にしていね。そして、応援してくださった先生方や保護者の方々、本当にありがとうございました。

全道大会出場・優秀賞

おめでとう

第一二五号紹介以降も七飯高校の部活動は頑張っています。多くの部員達が全道大会に進出しています。また惜しくも全道大会には届きませんでしたがいろいろな部活動で入賞を果たしています。

〇剣道部

・高体連道南ブロック秋季新人大会

男子団体 第4位

個人戦男子トーナメント

1年2組 小栗 竜悟 第8位

個人戦女子トーナメント

2年1組 福地 莉子 第8位

〇写真部

・第43回高文連道南支部写真部地区大会

3年1組 松原 一生

「サクラ咲け」 最優秀賞



1年1組

田原 美胡

「昔歩いた廊下」

入選

〇美術部

・第61回高文連道南支部美術展

2年2組

飯川 心海

「心」

優秀賞



1日防災学校 (10月)



1日大学訪問 (10月)

行事などを写真で振り返る



芸術鑑賞(10月)

新型コロナウイルス感染症が第5類に移行され、本校の授業や学校行事も感染に注意しながら通常通り実施しております。写真で振り返りながら本校生の様子をご覧いただければと思います。なお、第124号や第125号に載せた行事等は載せておりませんのでご了承下さい。



1日大学訪問(10月)



見学旅行結団式(10月)



大沼グレートラン・ウォーク(10月)



大沼グレートラン・ウォーク(10月)



環境学習野外実習(10月)



交通安全キャンペーン(10月)



ハロウィンカボチャ制作(10月)



ボランティアスクール(10月)



令和5年度七飯町中高生海外交流派遣研修事業壮行式(10月)



令和5年度七飯町中高生海外交流派遣研修事業出発式(10月)



デートDV講話(11月)



薬物乱用防止講話(11月)



消費生活講話(12月)



お仕事まるわかり体験(12月)



お仕事まるわかり体験(12月)



国語教育研究会(12月)



夢のあるまち七飯町プロジェクト発表交流会(12月)



令和5年度七飯町中高生海外交流派遣研修事業報告会(12月)



選挙啓発講話(12月)



環境学習発表会(12月)



探究活動発表会(探究チャレンジ・道南)(12月)



なないろなえ作品展
(12月、美術部制作)



硬式野球部



サッカー部



バドミントン部



女子バレーボール部



男子バスケットボール部



女子バスケットボール部



剣道部



陸上競技部



硬式テニス部



写真部



美術部



茶道部



英語部



ボランティア局



吹奏楽局



放送局



科学同好会



令和5年度 前期生徒会写真



令和5年度 後期生徒会写真

編集後記

第三十九期三年生の皆様、そして保護者の皆様、卒業おめでとうございませう。PTAだより「松並木」一六号が完成いたしましたので、ご覧下さい。

今年度からほとんど全ての行事を実施することができました。無事に終了できたのも生徒の皆さんの頑張りと保護者の皆様のご支援のたまものであります。また、各種大会なども実施され、多くの場面で七飯高校の生徒が活躍してくれました。

PTA活動でも三年ぶりに研修旅行を実施でき、お互いの親睦を深めることができた。また、町内のミニバレーボール大会に出場し優勝することもできました。

コロナ禍の三年間の空白期間は伝統継承という面において負の側面は大きかったと思えますが、だからこそ、これから新しいものを自分達で再び築いていくことができるといえる。その心意気が様々な行事でのPTAの皆様の活動の拝見すると七飯高校に対する前向きな姿勢をひしひしと感じ取ることができました。繰り返しになりますが、これまでものご協力に感謝しております。

次年度以降も七飯高校の支援助・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。